

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 茨城県立並木中等教育学校
種 別 公立中高一貫教育（中等教育学校）
所在地 〒305 - 0044
茨城県つくば市並木4-5-1
E-mail terada.keiko@post.ibk.ed.jp
Website <http://www.namiki-cs.ibk.ed.jp>
児童生徒数 男子 478 名 女子 477 名 合計 955 名
児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

国際理解
世界遺産
平和・人権
環境
気候変動
生物多様性
エネルギー
防災
食育
伝統文化

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①国際理解教育・国際交流など特色ある学校づくりの取組みを行った。

ア 1年・2年次：英語の基礎力を徹底的に鍛える時期。1年次後半から本県独自の英語コミュニケーションコンテストである「インタラクティブ・フォーラム」に向け、インプット・アウトプットの練習を英語科授業内で年間を通して実施。

イ 2年次11月：「インタラクティブ・フォーラム」の練習で身についた基礎的な英語コミュニケーション能力のアウトプットの場として、国内語学研修を2泊3日で実施。感想を英語でジャーナル作成。

(福島県にある「ブリティッシュ・ヒルズ」にて。中世英国を模した建物でオールイングリッシュの生活を送る)。昨年度までは2年次3月実施であったが、本校生徒の英語力が高くなってきていることと、移動バス内でインフルエンザの感染を防ぐ目的もあり、昨年度から11月に実施。)

つくば市の姉妹都市であるアメリカ・アーバイン市の学校とのペンパルプロジェクトと、イギリス・ケント市のノートンナッチブルスクールとのペンパルプロジェクトを実施中。

エ 3年次：つくば市AETでナイジェリア出身の方を学校に招き、ナイジェリアの子どもたちの現状について英語でプレゼンテーションをしていただいた。その結果、ナイジェリアでは靴が足りない、ということサイズが合わなくなった靴とスポーツグッズを送る活動を3年次中心に前期課程全年次で取り組んだ。

オ 3年次：国内修学旅行後、英語でジャーナルを書かせ相互発表。

カ 4年次希望者・5年次：学術振興会の協力を得て、海外の研究者を4人から6人を招き、理系分野の研究内容について英語で発表していただき相互交流。(サイエス・ダイアログ)

キ 4年次希望者：ニュージーランド語学研修
約2週間現地で研修。現在はファームステイの後、7校から7校に分散し現地校交流とホームステイを体験。ホームステイは一人一家庭でもあり、英語力をアウトプットする行事として本校行事の中の最大のものとなる。今後は単なる語学研修に終わらず、グローバルリーダー育成を意識し、現地において外務省訪問・大使館訪問・現地の大学訪問を実施し、ユネスコスクールとキャ

リア教育に結びつくような海外研修にしていく予定。

- ク 5年次 : 海外修学旅行（アジア地域）。
国際教育の集大成として実施。英語を使用し、現地の研究所見学や現地の大学生とキャンパスツアーや班別市内研修実施。新興国として活力のあるアジアを訪れることでアジアの中の日本を意識させている。今年度の5年次生は台湾を訪問し、現地の高校も訪問した。
- ケ 希望者：「一人一研」「SSH成果報告会」などで英語で研究発表が行えるようになるよう、ベルリッツジャパンに委託して「サイエンスレクチャー」を実施。SSHから補助も出るため、生徒の負担は6回の講座で1万2千円程度（テキスト代含む）。
- コ 留学者について：AFS・などで現在3名留学中（デンマークアメリカ・カナダ）。
- サ 留学者受け入れ：長期留学生受け入れとしてAFSから1名受け入れ中。（アメリカ人）また、ベトナムからの日本修学旅行受け入れ校定着してきている。

②県内唯一のユネスコスクールとしてESD教育の取り組みを行う。

今年度の文化祭にて生徒のユネスコスクールに関する有志企画を初めて実施し成功に終わった。①児童労働について ②フェアトレードについて 展示研究発表を行うとともに、学校オリジナルグッズ・フェアトレードグッズを販売した。

今年度はナイジェリアの子どもたちに使わなくなった体育館履き・スポーツグッズなどを送るプロジェクトを実施中。3月に寄贈予定である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

その他（文化祭でユネスコスクールの部屋を開設し、ESDについての展示や発表を行った。）